

「就職活動と自らの可能性」

理工学研究科新領域創造専攻

内定先：東武鉄道株式会社

あつというまに12月ですね。残り1ヶ月弱、いい過ごし方をして「2010年、いい1年だったなー」と思って年末を迎えたいと思っている今日この頃です。

さて、就職活動の体験記ということで、私の話を少ししたいと思います。就職活動では自分の専攻以外の業界を知れる貴重な機会だと言われています。例えば、大学生でもし総理大臣と会いたいと言って自分次第で会えるのが就活生の特権です。私も建築業界だけではなく、不動産や商社、保険業界などで建築に携われる様々な業界を見ていました。私は建築学科出身ですが、金持ちのために家をつくることだけが建築家の仕事ではないと思っています。そこで、皆さんにもぜひ、自らの可能性が何なのか考えて欲しいです。

ここで就職活動を終えた私が、ぜひ皆さんに今知っておいて欲しいことは、周りと一緒にのこともしても意味がないということです。よく就職活動にルールはないと言いますが、事実その通りです。書店で売られている参考本や、就活サイトに書かれている通りにやった結果が、現在の内定率ではないでしょうか。そこで、私が何をしていたのかというと、人と会うことでした。はっきり言って、企業説明会は会社HPに載っていることしか聞けません。なので、受けたい企業のOBの先輩にはほとんど会って話を聞きました。そして、志望動機や、やりたいことを聞いてもらいました。それから、相手が若手の方なら、どうやったら入れるのか、上の人なら入れて下さいと言っていました。そこからどうなるかは自分次第です。もし、先輩やOBとコネがないと嘆いているなら、コネぐらいつくってきてください。社会に出たらそんなものです。ちょっと考えれば、その機会はたくさんあります。

最後に、今年も就職難といわれている時代ですが、これを読んでいただいた後輩の皆さんが良い結果が得られることを心より期待しております。